

# 宮古盛岡横断道路 宮古～盛岡 位置図





# 広域周遊観光の拡大を支援

- ◆宮古市や盛岡市では、観光入込客数が横ばいの中、外国人観光客数が大きく増加。
- ◆沿岸地域では、道路ネットワークの整備により、クルーズ船寄港時のオプションツアー先が拡大するなど効果が発現。
- ◆都南川目道路を含めた宮古盛岡横断道路の開通による観光拠点へのアクセス性向上で、内陸・沿岸双方の広域周遊観光拡大を支援。

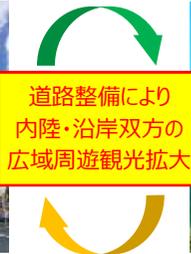
## ▼岩手県内陸・沿岸部の主要観光地



※主な観光地は、自治体観光協会、自治体統計書等に掲載の主要観光地地点等を参考に、田野畑村、岩泉町、岩手市、花巻市、北上市、奥州市、遠野市、住田町、釜石市、平泉町、大船渡市、陸前高田市に立地するものを抽出。  
 ※三陸復興国立公園は、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するためにH25.5に創設された国立公園。  
 ※ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球を学び、まるごと楽しむことが出来る場所。三陸ジオパークは、H25.9に日本ジオパークとして認定された日本一広大なジオパーク。

## 内陸の観光地

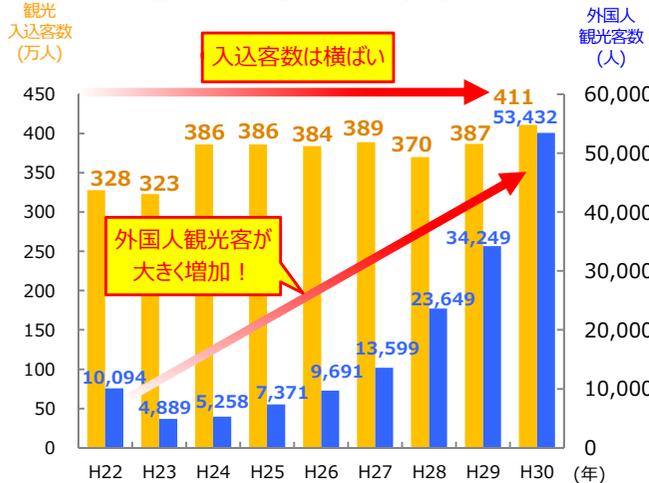
## 沿岸の観光地



岩手銀行赤レンガ館(盛岡市)

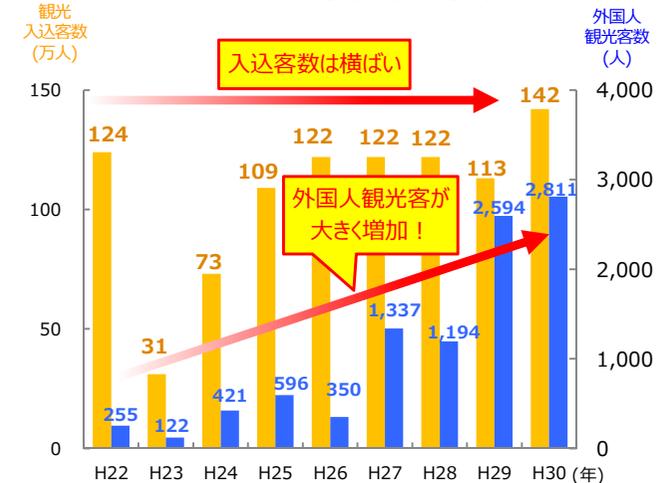
浄土ヶ浜(宮古市)

## ▼盛岡市の観光客数の推移



資料：岩手県観光統計概要

## ▼宮古市の観光客数の推移



資料：岩手県観光統計概要

## ▼宮古港へのクルーズ船寄港回数



資料：H22～H29国土交通省、H30、R1宮古市港湾振興課 公表資料

## 宮古港へ寄港する外航クルーズ船



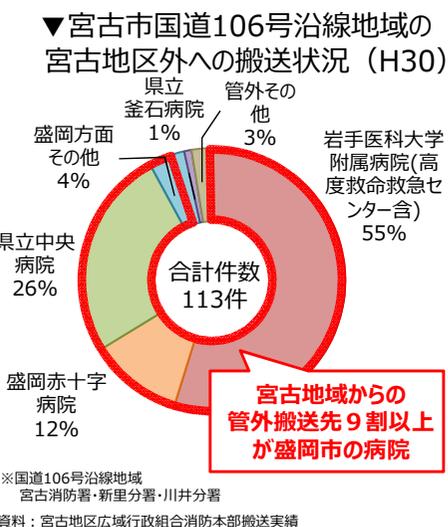
2019年4月25日撮影

## 《各観光関係者の声》

- ・クルーズ船寄港地ツアーでは、観光地までの所要時間が90分までを目安にツアーが造成されます。
- ・今後も寄港時の波及効果が県内全域に広げられるよう期待しています。(R1.5 宮古市港湾振興課 ヒアリング結果)
- ・オプションツアーにおいてはモノづくりの見学希望に関する問い合わせがあり、情報提供をしています。
- ・盛岡-宮古間の所要時間が90分程度に短縮された場合、盛岡市周辺が新たなツアー先として新設されると期待しています。(H31.2、R1.7 岩手県 ヒアリング結果)

# 迅速で安定した救急医療活動を支援

- ◆ 国道106号沿線地域の救急搬送では、9割以上が盛岡市内への管外搬送。
- ◆ 搬送に時間を要するほか、国道106号や(主)上米内湯沢線では急勾配・急カーブによる横揺れなど、搬送時に問題が発生。
- ◆ 都南川目道路の整備により、搬送時間の短縮や、搬送時の走行性向上で、迅速で安定した救急医療活動を支援。



《消防署の声》

- ・重症患者搬送の場合、長時間の搬送により症状の悪化が懸念されます。
- ・(主) 上米内湯沢線はカーブや高低差があり、患者の容態悪化を防ぐために安定走行に努めています。そのため、速度は緊急走行とはいえ一般車と同じくらいのスピードしか出せません。
- ・都南川目道路の整備により、盛岡赤十字病院や岩手医科大学附属病院 (移転先) へのアクセシビリティ・走行性が向上することで、迅速で安定した救急活動が期待できます。

(R1.6、9 消防署ヒアリング結果)